

因幡の傘踊祭祥の地



(国府東小)

(国府町高岡)

全国に誇れる珍しい独特の傘踊り 明治28年考案
「日本一」因幡元祖傘踊り創始者



第20回

山本徳次郎翁偲ぶ会

平成29年 8月26日(土) 10:00～ 鳥取市国府町糸谷13

- * 奉告
- * 献花
- * 傘踊り奉納

ボランティア募集

山本徳次郎翁の碑

山本徳次郎は、国府町高岡出身で、因幡の傘踊りの創業者です。この碑は、彼の業績をしのんで昭和49年に建てられたものです。明治29年ごろ、徳次郎は若者達中の「かしら」をして、いまだが、かけごとにふけていた若者に健全な娯楽を与えようと、雨乞い踊りにヒントを得た踊りの製作に取り組みました。傘や唄を考え、剣舞の型を取り入れ、鶴亀の高低変化を加えた振りを考え、寝食を忘れるほど傘踊りの研究に打ち込みました。そして出来上がったのが、有名な因幡の傘踊りです。

彼は、その後も消防団長、村議会議員などをして、地域の改善、開発に献身的な活動を続けたのです。

平成九年 国府町名誉町民



因幡の傘踊り始祖に届け

鳥取で児童ら 顕彰の会、献花も



傘踊りを披露するさつき保育園園児たち

跡の碑を建てさせて、傘踊りを披露する園児たち。27日、鳥取市国府町糸谷の境内ふれあい広場に、毎年開催、例年は近くの谷地区公民館敷地で行っているが、雨天のため場所を移して行われた。

関係者の献花に続き、地元のさつき保育園児と国府東小の児童ら4人がそれぞれ傘踊りを奉納。法要の子どもたちは、傘に取り付けた鈴の音に響かせながら威勢よく踊りを披露した。

国府町の交差点に伝わる「因幡の傘踊り」を考案した故山本徳次郎翁の会が27日、鳥取市国府町糸谷の境内ふれあい広場に開かれ、伝統を継承している地域住民や子どもたちが参加。傘踊りを奉納して、地域の伝統を将来へ受け

主催：因幡元祖傘踊り創始者山本徳次郎翁顕彰の会

後援：鳥取市教育委員会

連絡先：鳥取市国府町高岡 513-1 福田 幹 右 TEL.0857-24-9556

ホームページ：http://kasaodori.com/

鳥取県民俗芸能

検索